

## 登録団体概要書

(R5年9月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつどうほうじんもりのようちえんおさんぼたい 特定非営利活動法人森のようちえんお山歩隊		
代表者職・氏名		代表理事 湊 千恵		
主たる事務所の 所 在 地		〒761-0323 高松市亀田町 293 番地 2		
連 絡 先 等		電 話	090-2820-3076	F A X
		e - mail	osanpotai@hotmail.co.jp	
		ホームページ	osanpo.sunnyday.jp	
法人設立年月		令和2年4月	正会員数	23人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		主に高松市内の里山等を活かした活動を通して、子どもの時間を保障し子どもが自ら育つことを見守る「子育て支援」及び、子育てにおいて直面する困難の中にも、親が子育ての喜びを実感できる「親育ち支援」により、一人一人が自分らしく今を輝かせ、人と人がつながり、共に助け合い、そして子どもも大人もすべての人が育ち合う社会の実現に寄与することを目的とする。		
主たる活動分野		子育て支援		
活 動 状 況	主 な 活 動	子ども主体の生活環境の場の提供事業（森のようちえん事業） 親子で共に育ち合える場の提供事業（森の親子組事業） 学校以外の学びの場・居場所の提供事業（森のがっこう事業） 環境教育や子育てに関連する各種講座開催事業（森の出張事業）		
	活 動 地 域	高松市西植田町、坂出市五色台など		
	活 動 頻 度	通年／週5回（長期休暇あり）…森のようちえん事業 週1回…森の親子組事業 月1回…森のがっこう事業 年1回程度…森の出張事業		
	過 去 の 事 業 実 績	2009 「親子組」週1回の活動を開始 2011 参加者の増加、要望を受け週3回の活動 2012 「森のようちえんお山歩隊」へ改名 ようちえん組週5回、「親子組」週1回の活動 2016 内閣府チャイルドユースサポート章 受賞 2017 「森のがっこう」月1回の活動開始 2019 ようちえん組高松市認可外保育施設として届出 みんな子育て応援団大賞四国新聞社賞 受賞 2020 NPO 法人化		

今後の活動方針	<p>今後も西植田地区の豊かな里山環境を活かした幼児保育を中心とした活動を行い、両親はもちろん、地域の方々や他団体とも協力し、すべての人が育ち合う社会の実現に寄与したい。また、里山と人を繋ぐ循環が生まれる居場所づくりをしていきたい。</p>
県民へのPR	<p>「子どもを自然の中でのびのび育てたい」という保護者の想いで始まった森のようちえんが活動主体の団体で、今年で13年目を迎えます。親子連れによる自主的な活動を地道に続ける中で、徐々に組織化し、令和5年現在総会員数（登録保護者）は38名、活動に参加する子どもを入れると総勢90名弱まで規模が広がっています。西植田町の地域に根差し、子どもの育ちやそれに関わる保護者の想いに寄り添ってきた地道な活動に自信を持っています。子ども同士が群れて遊ぶ場所や機会が少なくなっている昨今、豊かな里山環境の中で遊びに没頭する時間を保障する活動は県内でも希少です。私たちの活動にご賛同、ご支援いただけますと大変光栄です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(R5年 9月作成)

団体名 森のようちえんお山歩隊

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>ようちえん組事業では、高松市在住の家庭が大半ではあるが、香川県では唯一の「森のようちえん」であることから、一定のニーズが認められ、三豊市、丸亀市、坂出市から通園実績がある。来たい気持ちがあれば、どなたでも入園可能であるし、それをサポートする体制である。</p> <p>また、親子組事業でも同様に、他ではできない自然体験活動や、「大人が与えすぎずゆったりと見守り、より良く成長したいとする子ども自身の力を信じて待つ」という理念に共感した親子連れが継続、または単発で参加している。活動の予定や内容をお知らせする「親子組通信」を2ヶ月毎に500部発行し、高松市を中心に子育て支援施設や、図書館、スーパー、飲食店などに配置し、広報にも努めている。</p> <p>さらに、研究・研修目的の社会人や学生ボランティア等も随時受け入れている。</p>
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>県立森林公園であるドングリランドの指定管理者 NPO 法人ドングリネットワークとの共催事業として、毎週水曜日ドングリランドで「森の親子広場」を開催している。未就学児の親子連れを対象とし、里山の散策やおくどさんで薪を使った野外調理をするなど、登録隊員として継続的に参加する「親子組」と一緒に活動し、自然育児の体験活動の場を提供している。</p> <p>高松市認可外保育施設として、幼児の預かり保育を行っている。規模は小さいながらも確実なニーズはあり、前述のとおり、香川県全域から通う子どもの保育実績があり、保育認定を受けている子どもでない子どもも受け入れ可能である。</p> <p>さらに、子育て中の親や保育・教育関係者、その他子どもに関わる全ての人を対象に、長年保育の実践・研究に従事している等保育に精通した講師を招聘し、子どもの本質や質の高い保育のあり方についての講演会を年1回程度実施し、その考え方を多くの方に知ってもらうことで、子育てに喜びや楽しみを持ち、安心して子どもを産み育てることができる地域づくり、社会づくりに貢献できると考えている。</p>

活発なNPO活動を継続的に  
行い、当該活動に発展性及び模範性があること

私たちは小さな任意団体から始まったが、今では100人程度が実際の活動に関わるNPO団体へと成長した。ようちえん事業を主軸とする活動は今後も一定の需要があるものとして継続していきたい。そして毎年卒園児とその家族が増えていく中で、新たな活動として、山族会という名のOB会を立ち上げた。里山で遊び、利用するための整備活動を、大人も子どもも一人一人の思う形で関わっていくものである。現役のようちえん親子は西植田地区の里山でたくさんの時間を過ごし、その恩恵を受け、親は子どもを育てる環境は、自分たちの手で支えることを身をもって経験している。卒園後は月に1回、場を提供し親子が自由に里山で過ごす時間を保障することで、人と里山との関係を継続的なものとし、里山へ人を呼び込む次世代への流れを作っていく。各地区でこのような循環ができたなら、県内で荒廃していく里山の模範的な使い方になるのではないかと考えている。

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。